

学園だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北納学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第9号 平成29年8月7日発行

文責 校長 中島賢二

拡大版

上陽よかところ発見 第8回

ほくぜい
「北納って何？」

今回は夏休みスペシャルバージョンということもあり、日頃は小出しにしている「上陽よかところ発見」のコーナーを、拡大版ということで書かせていただきます。

何を取り上げるかという本校の名前でもある「北納(ほくぜい)」についてです。

上陽町の皆さんは当然のようにご存じだったと思いますが、恥ずかしい話、私は8年前北納学園ができるまで、「納」という漢字を知りませんでした。なおかつ読めませんでした。しかし、校長を命じられた訳ですから、まずは「北納」って何？という疑問を解かないわけにはまいりません。

そこで、いろいろと情報を収集すると、面白い事実に出会いました。

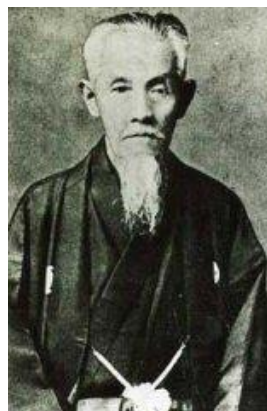
まず、「北納」という言葉は、明治12年に江碕濟(えさきわたる)先生がこの地に作った北納義塾の名前から受け継いだものであること。北納義塾は当時名声の高かった江碕先生を、村民が熱心に礼を尽くしてお迎えし、やっとの思いでできた学舎でした。

上陽北納学園のホームページにも書いていますが、「納」の字は、川が合流し、渦を巻き、力を蓄えて新たに流れ出すという意味です。松尾文郎著「江碕山脈」によれば、奥八女から発した小さな教育の営みが、大きな川となり、やがては大海に注ぎ込むという意味が込められているそうです。

また、もう一つの解釈として、「納」の字を分解すると、左のシ(さんずい)は川(水)を意味し、右の内は北川内の「内」なので、つまり「北納」とは、北川内(きたがわち・北納学園の所在地名)のことだそうです。現代でいうところのアナグラムの暗号のようで、この時代になんともしゃれが効いていると思いませんか。

この時、江碕濟先生はなんとまだ35歳(よく知られている右上の写真は77歳頃のもの)だったそうです。新しい教育を興そうとされるくらいの方は、若くしてユーモアを交えた柔軟な思考をされるのだなとつくづく感じ入るとともに、僭越ながら大ファンになりました。

上陽北納学園も、小学校文化という川、中学校文化という川、既存の学校文化という川、新しい学校文化という川、上陽文化という川、外界文化の川・・・いろんな川(文化)がぶつかり合い、渦を巻きながら、柔軟な発想で大きな川になっていかなければならないと改めて考えています。



江碕濟先生



旧北川内小学校にある
北納義塾の碑



★ 印刷直前にビッグニュースが2つ入ってきました。NHK合唱コンクール福岡県大会銅賞と八女市給食コンクール(調理技術のコンクール)優勝です。詳細は次号でお伝えします!

夏休みも子どもたちは頑張っています！



あっという間に夏休みも半ばを過ぎようとしています、この暑い中でも子どもたちは頑張っています。

- 夏休みに入ってすぐにあった中体連の筑後地区大会には、バレー部と剣道部が出場しました。惜しくも敗れはしましたが、汗まみれになりながら健闘してくれました。
- 7月下旬には、4～9年生で補充学習が行われ、一生懸命に学習に取り組む姿を見せてくれました。
- 8月2日(水)には、巨済市との交流事業に8年生の〇〇〇さんが参加し、韓国の中学生と笑顔あふれる交流を行ってくれました。
- 8月4日(金)には、NHK合唱コンクールに6年生と5年生の有志が参加しました。練習を積み重ねてきた結果として、素晴らしい歌声を福岡市民会館に響かせました。(銅賞受賞！詳細は次号で)
- 8月5日(土)、6日(日)には、広島平和式典に8年生の〇〇〇〇さんが参加し、平和の祈りを献げてきてくれました。
- この他にも、プール開放や、部活動の新チームでの活動開始など、元気いっぱい活動する姿がありました。残りの日々、子どもたちが「〇〇をした夏」と言えるよう頑張るとともに、事故なく元気に過ごしてほしいと思います。



八女市議会の皆さんが視察に来られました！

7月31日(月)に八女市議会総務文教委員会の皆さんが本校に視察に来られました。栗原委員長はじめ8名の議員さん方と八女市教育委員会の皆さんがおいでになり、義務教育学校の現状と課題について熱心に質問を寄せていただきました。本校からは、義務教育学校の特色と本校の今後の在り方について説明をしました。

八女市に限らず、これから多くの地方公共団体が義務教育学校を設置していくことになります。その際に、本校が福岡県の先駆けとして他校の鑑となれるよう、「みんなでマドカ！」という重点目標の下、しっかり頑張らねばと決意を新たにしました。



ミニコンサート今後の予定です。

本年度、月に1回のペースで、多目的ホールにて昼休みに20分間のミニコンサートを行っています。今回は地域の皆さんにも多数ご参観いただくなど、盛り上がってきたところです。ここで今後の予定をお知らせします。記述がない部分は未定につき、決定次第お知らせします。



- 9月 石橋公姫さん(琵琶)9月8日(金)13:20
- 10月 山ノ内貴一郎さん、久米歩さん(ピアノ、マリンバ)
- 11月 ORISTさん(バンド)
- 12月 森山真実さん(ピアノ)
- 3月 武藤健さん(ギター) ※ 1月、2月は現在のところ未定